

2009.2.21



生誕200年－メンデルスゾーン特集 第1回



プログラム

今年はいどんの没後200年と並んで、ドイツの大作曲家メンデルスゾーンの生誕200に当たります。そこでいどん同様2回に分けて名曲、佳曲の数々をたっぷりお聴きいただきます。メンデルスゾーンは教養ある裕福な家庭に生まれ、大作曲家には珍しく恵まれた環境の中で作曲しましたが、38歳の若さで亡くなりました。しかし、同じように若死したモーツァルトやシューベルト、ショパンといった作曲家に比べ、一部の作品を除いてそれほど親しまれているとは言えません。今日はこの作曲家の魅力を十分感じ取って頂けるような作品を集めました。メンデルスゾーン再発見になればと思います。

フェリックス・メンデルスゾーン (1809～1847):

劇音楽“真夏の夜の夢” *op.61* ～ 序曲 *op.21* – スケルツォ – 結婚行進曲

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1992.9.20 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)

オルガン・ソナタ第5番二長調 *op.65*

ステファン・ヨハネス・ブライヒャー (オルガン)

(1999.7 /アルテ・ノヴァ盤)

弦楽四重奏曲第1番変ホ長調 *op.12* ～ 第2楽章 カンツォネッタ

弦楽四重奏のための4つの小曲 *op.81* ～ 第3曲 カプリッチョホ短調

ヘンシエル弦楽四重奏団

(2004.5. ミュンヘン/アルテ・ノヴァ盤)

*** 休憩 ***

ピアノ協奏曲第1番ト短調 *op.25* ～ 抜粋

ヴァレンティン・グオルギユウ (ピアノ)

若杉 弘指揮バイエルン放送交響楽団

(1979.9.27 ミュンヘン、ヘルクレスサールでのLive)

クラリネット・ソナタ変ホ長調 ～ 抜粋

チャールズ・ナイディック (クラリネット) / ロバート・レヴィン (フォルテピアノ)

(1990 RCA盤)

交響曲第3番イ短調 *op.56* “スコットランド”

～ 第1楽章から、第3楽章から

オットー・クレンペラー指揮バイエルン放送交響楽団

(1960年代 ミュンヘンでのLive)

～ 第4楽章

レナード・バーンスタイン指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

(1979.8.20 サルツブルク祝祭大劇場でのLive)